

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

令和5年度 事業計画

事業方針

経済回復に合わせ、観光需要も回復傾向にある中、これまで以上に情報発信の強化と高付加価値の商品造成を図りながら、選ばれる観光地としてウイズコロナでの誘客活動に積極的に取り組む。

また本年は、ALPS 処理水の海洋放出の方針が出されていることから、正確な情報発信と国・県・市と連携しながら風評対策に取り組むとともに、J2 リーグに昇格したいわき FC を起爆剤に、スポーツによる観光交流人口の拡大も目指す。

さらに、商品造成においては、昨年より活動を始めた「いわきツーリズムガイド」を本格的に活用し、いわきならではの付加価値の高い商品造成とインバウンドも視野に入れた誘客活動に取り組む。

いわき市石炭・化石館においては、豎坑櫓の解体に伴い引き続き休館となるが、令和6年春の再開に向け、継続した情報発信と出前講座などでの学芸員による石炭・化石館の持つ魅力の普及に努める。

本年で5年間の指針としてきた「いわき観光まちづくりビジョン」が最終年（5年目）を迎え、今後のビジョンを策定する年となることから、これまでの事業を検証するとともに、新しい旅のスタイルの変化やSDGs・脱炭素の視点、サステナブルな観光地域づくりを目指すビジョンの策定に取り組む。

本年も、マーケティングの各種データを会員の皆様と相互に情報を共有し、商品造成や受入態勢の強化を図り、会員連携のもと、各事業部会さらには各事業部会の横断的な事業の推進により活発な事業展開を目指し、来訪者にはホスピタリティをもって「行ってみたい」「また来たい」と思わせる観光地域づくりに取り組む。

I 公益事業

1 いわき市石炭・化石館の管理運営／企画展・イベントの開催による誘客事業

【ビジョン：Ⅲ-3 歴史・文化・芸術の活用】

【公益事業：13,000 千円・管理運営委託事業：51,933 千円】

本市固有の資源である「化石」と「炭鉱」をはじめとした本市の自然・地質・産業遺産の継承に資するため、現在休館中ではあるが、いわき市石炭・化石館ほるるの管理運営を行うとともに、常磐炭田史研究会やいわきヘリテージ・ツーリズム協議会、地元各種団体等との連携を図り、あらゆる機会を活用し、再開に向け継続した情報発信と出前講座や誘客イベントの開催に努める。

II 地域活性化事業

新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ観光需要の回復のため、積極的な情報発信や、地域経済活性化のための事業を実施し、本市観光誘客の増大及び物産品の販売促進を目指す。

1 地域・情報戦略部会

誘客促進に向けて、本質的な問題、課題を整理しながらマーケティングを実施し、収集したデータの戦略的活用を目指す。

- デジタルマーケティングの強化
- デジタルプロモーションの強化
- 継続したデータの収集と分析

分析による「課題」の抽出と「課題解決」のための戦略の策定

【基本戦略Ⅰ】に基づく事業【11,592千円】

(1) デジタルマーケティング事業【専門事業者(株)movとの継続した連携】

【ビジョン：Ⅰ-1 デジタルマーケティング】

- ①ビューローの運営するHPやSNS等（オウンドメディア）の活用と分析
- ②Googleビジネスプロフィールの推進による会員基本情報の整備並びに分析
- ③ECサイトの活用と分析

(2) デジタルプロモーション事業【ビジョン：Ⅰ-1 デジタルマーケティング】

- ①ターゲット（地域や年齢、性別等）に合わせ、YoutubeやInstagram等SNSを活用したデジタルプロモーションの強化

(3) キービジュアル作成事業【ビジョン：Ⅰ-5 多様な媒体を活用した情報発信】

- ①紙媒体であるパンフレット・ポスター等による情報発信

(4) GPS等を活用した訪問客動向調査の実施【ビジョン：Ⅰ-1 デジタルマーケティング】

- ①ビーコンやビックデータを活用して訪問客動向を見える化し、周遊施策や二次交通等の誘客施策を展開

2 観光・誘客推進部会

誘客に向けた多様な商品を造成する。造成にあたっては、地域関係団体やいわきツーリズムガイドを活用する。また、スポーツを通じた観光交流人口の拡大と、再開した海水浴や、いわき花火大会をはじめとした夏まつり、各種イベントの宣伝強化による誘客推進を目指す。

○テーマ別ツアー(商品)の造成

○スポーツ(サッカーやサイクル、合宿誘致等)による観光交流人口の拡大

○MICEや教育旅行の営業活動(補助金の活用)

○インバウンドの誘致活動

【基本戦略Ⅱ】に基づく事業【3,556千円】

(1) テーマ別観光推進事業(ガイド付ツアー造成)【ビジョン：Ⅱ-2 テーマ別観光の推進】

※テーマ：アクティビティ、登山、まちあるき(国宝白水阿弥陀堂等)、ヘリテージ、レイライン、震災学習、物産、食など

- ①各ツアーにおけるターゲットを明確にした集客
- ②宿泊と連携したツアーの造成
- ③県・東日本旅客鉄道株式会社との連携による「重点販売地域」での宣伝

(2) スポーツを通じた観光交流人口の拡大【ビジョン：Ⅱ-2 テーマ別観光の推進】

- ①いわきFCとの連携(フラ・温泉のPR)や宿泊関係者と連携した合宿誘致活動

(3) 県や近隣自治体と連携した教育旅行誘致活動の実施

【ビジョン：Ⅱ-4 教育旅行・合宿やMICEの誘致】【補助金2,200千円・委託料644千円】

(4) 県と連携したインバウンド(タイ・台湾)に向けた商談会等への参加

【ビジョン：Ⅱ-5 訪日外国人旅行者の誘客】

3 地域・物産振興部会

ネット(EC サイト)とリアル(物産展等)において、販売促進と販路拡大を強化する。

また、販売機会の創出と特に水産物の風評払拭に努め、産品・食による誘客を目指す。

- 販売促進・販路拡大
- EC サイトの活用(インバウンドも視野に入れる)
- ALPS 処理水による風評対策

【基本戦略Ⅲ】に基づく事業【18,736 千円】

(1) ネット販売強化事業

【ビジョン：Ⅰ-1 デジタルマーケティングの推進・強化、Ⅲ-2 地場産品の活用】

- ①インターネット販売サイト「いわき逸品」の活用強化

(2) 各種リアル物産展への参加による販路拡大・販売促進

【ビジョン：Ⅲ-2 地場産品の活用】

- ①ネット販売では伝わらない「味、香り、音、感触」などの実演による販売促進や EC サイトへの誘導、いわき市への誘客の促進

(3) 「食」「産品」によるツアー商品の造成（観光・誘客推進部会との連携）

【ビジョン：Ⅲ-2 地場産品の活用】

(4) 「常磐もの」の宣伝強化(市水産課との連携)【ビジョン：Ⅲ-1 自然資源の活用】

(5) ALPS 処理水による風評対策

【ビジョン：Ⅰ-2 地域と連携した観光・物産情報の収集と発信】

4 いわき市石炭・化石館運営検討委員会

化石館の再開に向け継続した情報発信を行う。

- (1) 情報発信(化石館 HP、SNS の運用)
- (2) 化石館再開に向け、継続した誘客活動の展開
- (3) 売店機能の活用(いわきオリジナルアロハシャツ販売等)

5 受託事業

ビジョンに掲げるそれぞれの目標を達成するため、当ビューローがその専門性にに基づき事業を受託する。

- (1) 観光誘客促進事業(いわき市総合観光案内所運営、海開き式典開催、いわきおどり運営)
(市観光振興課：21,491 千円)【観光・誘客推進部会】
- (2) フィルム・コミッション推進事業業務
(市観光振興課：2,833 千円)【観光・誘客推進部会】
- (3) いわき産水産物風評被害対策事業「常磐もの」認知度向上及び販売促進業務
(市水産課：22,383 千円)【地域・物産振興部会】
- (4) いわき市木づかい住宅ポイント事業交換商品取扱等業務
(市林務課：13,269 千円)【地域・物産振興部会】

6 他団体との連携

(1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会

(2) いわきフィルム・コミッション協議会

(3) 行政機関や公的機関との連携

国(国土交通省観光庁)や県(観光交流局)、(一社)東北観光推進機構や(公財)福島県観光物産交流協会など、関係機関等との連携により、財源の確保やスケールメリットを活かすなど、効率的かつ効果的な事業展開を図る。